

報道関係各位

2009年5月28日

無接点充電の国際規格策定を目指すワイヤレスパワーコンソーシアム にサムスン電子、DURACELL、ホシデン、レゲット・プラット各社が 新規加盟

業界先端各社が家電製品への革新的利用に向けてコンソーシアムの牽引を加速

【2009年5月28日香港発】

ワイヤレスパワーコンソーシアムは、本日、Duracell（米国）、ホシデン株式会社（日本）、レゲット・プラット社（米国）、サムスン電子（韓国）の4社が、新規に加入したことを発表しました。

ワイヤレスパワーコンソーシアム プロモーション委員会のキャミール・タン共同議長は、「サムスン、Duracell、ホシデン、レゲット・プラット各社の専門分野技術は、バッテリー、家電、コンポーネント、部品メーカー、設備、半導体、非接触電源技術へとコンソーシアムの裾野を広げるものです。これらのバリューチェーンを網羅する市場でのリーダーシップは本規格の成功においてとても重要なことです」と述べています。

消費者調査によると、異なったデバイスやブランド、また同じブランドでも異なったモデル個々に複数の充電器が必要であるという不便さを解消するためのユニバーサルな無接点充電規格は、消費者ライフスタイルの要求度において上位20%以内にランキングされています。^{*}

「サムスンは40年以上に渡って革新の最前線に位置しており、今回の電子機器への電源伝送手法に革命をもたらす規格策定への参加をとても喜ばしく思っています」と、サムスン

電子上級副社長のキム・キホ博士は述べています。

また、Duracell の R&D Associate Director である David Klein 氏は、「Duracell は長年に渡って、消費者の要求を聴きながら彼らのデバイスにパワーを供給し続けてきました。我々は、デバイスおよび暮らしに必要なエネルギーに簡単にアクセスし、利用できることを望む人々の生活に、自由と機会をもたらすような活動に参加できることを嬉しく思っています」と、語っています。

更に、ホシデン株式会社技術管理部門の峯啓治課長は、「電子部品製造のリーディングカンパニーとして、ホシデンは無接点充電の国際規格策定への貢献と、このすばらしい技術による弊社商品の価値向上を待ち望んでいます」と、述べています。

「弊社は革新に積極的に取り組んでおり、既にワイヤレスパワー技術の主充電系を弊社が提供する広範囲なインフラ製品に統合しております。このコンソーシアムで他のリーダー各社と共にこの標準に貢献することを大変うれしく思っております」と、レゲット・プラット社先端技術担当上級取締役のリーロイ・ジョンソン氏は述べています。

*このリサーチは、Ipsos Vantis, AcuPOLL[®] and Frost & Sullivan によって実施されました。

ワイヤレスパワーコンソーシアムについて

ワイヤレスパワーコンソーシアムは、2008年12月17日に設立され、その使命はあらゆる充電式電子機器で動作互換性を持つ国際的な無接点充電標準規格の策定、およびその採用を幅広い市場で促進することにあります。メンバーは、コンビニエントパワー、Duracell、ホシデン、フルトン・イノベーション、レゲット・プラット、ロジテック、ナショナルセミコンダクター、オリンパス、フィリップス、サムスン電子、三洋電機、深せん桑葚消費通信社、テキサス・インスツルメンツ(2009年5月28日現在)。

ワイヤレスパワーコンソーシアムはメンバーに参加する企業を歓迎します。

詳細はwirelesspowerconsortium.comをご参照下さい。

WIRELESS POWER CONSORTIUM

▽問い合わせ先

Amanda McLafferty

+1-616-855-6368

wpc@contextmg.com